

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年8月後半）

### 1. 経済

- 米Live Gamer社（本社ニューヨーク）、ルクセンブルクに支社を開設したことを19日に発表。同社はオンラインゲーム運営会社等に対し仮想マーケット構築や決済サービスといったソリューションを提供しており、当国の他に米国（カリフォルニア及びノースカロライナ）、韓国及びシンガポールに支社を有する。（19日付メディア通信総局及び経産省コミュニケ）
- 2013年1月から7月までのフィンデル空港の貨物取扱量は375,119トンで、前年同期比5.7%増加。2011年及び2012年は前年比でそれぞれ▲6.9%及び▲6.4%と減少傾向であったが、2013年は増加傾向にある。また、同空港の利用者数は2010年以降増加傾向にあり、2013年1月から7月までの利用者数は121万6千人で、前年同期比13.3%の増加。（20日付ペーパージャム誌電子版）
- RTLグループ（本社当国）、2013年上半期の利益総額は467百万ユーロで、前年同期比41.1%増加。（22日付ヴォルト紙電子版）
- 7月の失業率は7.0%（前月は6.9%、前年同月は6.1%）。（23日付統計局プレスリリース）
- 8月の消費者信頼感指数は▲7（7月は▲12）で、3ヶ月ぶりに改善した。（30日付中央銀行プレスリリース）

### 2. 金融

- 露統計局の発表によると、7月1日時点にてルクセンブルクは対露投資額において第3位（480億ドル、全体の12.9%）であった。なお、第1位は蘭（665億ドル、同18%）、第2位はキプロス（646億ドル、同17.5%）。（23日付ヴォルト紙）
- 国立貯蓄銀行（BCEE）、2013年上半期の収益は328百万ユーロで前年同期比7.9%増、純利益は140.9百万ユーロで同0.2%増。同行は、今後実施予定の銀行秘匿の一部解除の影響を受け、外国人による預金が少なからず減少しているとした。なお、金融誌Global Financeによる2013年の銀行信用度ランキングにおいて、同行は世界で最も安定した10行の一つであると評価された。（27日付ヴォルト紙及び29日付ル・コティディアン紙）
- KBLヨーロッパ・プライベートバンカーズ、2013年上半期の純利益は41.9百万ユーロで、前年同期比300%増。右は主に収益の増加や経費削減等が要因である。（30日付ヴォルト紙）

●BGL BNPパリバ、2013年上半期の収益は737.2百万ユーロ（前年同期は455.7百万ユーロ）、純利益は211.1百万ユーロ（同109.2百万ユーロ）であった。収益の大幅な増加はリース部門の統合等が要因で、右要因を除くと今期の収益は前年同期比6%である。（31日付ル・コティディアン紙）

### 3. 政府

●ルクセンブルク政府、20日に30年物国債の私募発行を通じて300百万ユーロを調達。今年はいくまでに30億5千万ユーロが国債発行により調達されている。（22日付ヴォルト紙電子版）

●シュナイダー経産相、29日から30日にかけてトルコのイズミルを訪問。同国の産業通商省副大臣及びトルコ企業と会談し、Izmir International Fairの除幕式に参加。（30日付経産省コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。